

第64回 筑波学校体育研究会秋期研修会のご案内

漸く暑さも和らぎ、朝夕と秋の気配を感じる季節になりました。皆様、ご多忙の日々をお過ごしと存じます。

さて、新型コロナウイルスの蔓延により、多くの教育現場ではリモート授業やICT機器への対応等に終始し、新学習指導要領とじっくり取り組む機会を設定できていないと思います。そこで、筑波学校体育研究会では、「**体育科：授業づくりのポイントを考える**」というテーマを掲げ、第64回秋期研修会をリモートで開催することを企画しました。このテーマのもと、小学校体育における授業実践のポイントやコツのあり方をコロナ禍の状況も踏まえながら捉え直し、体育科の授業実践の基礎基本を改めて整理したいと考えています。

例年とは異なる形式の開催になり手続き等でご面倒をお掛けしますが、お知り合いの先生方をお誘いの上、是非ご参加いただければ幸いです。

令和3年9月吉日

筑波学校体育研究会

会長 山本 悟

理事 一同

1. テーマ 体育科：授業づくりのポイントを考える

2. 期 間 令和 3年 10月 9日 (土) 13:00～16:20

3. 会 場 オンライン (Zoom ミーティング 入室開始 12:30)

4. 会 費 1,000円

5. 申し込み イベントペイ
下記 URL よりお申込みください

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=4955907961934240&EventCode=P921955941

申し込み用

QRコード



※申し込みは 10月 4日 (月) まで

※研究会の資料と Zoom の URL は 10月 6日 (水) にメールで配信します。必ずご確認ください。

※携帯電話のキャリアメール (@i.softbank.jp、@docomo.ne.jp、@ezweb.ne.jp) での登録はお控え下さい。

事務局からのメールが届かないことがあります。

※Gmail (@gmail.com) の場合、事務局からのメールが迷惑メールフォルダに入ることがあります。

迷惑メールフォルダも随時ご確認ください。

6. 定 員 300名

7. 主 催 筑波学校体育研究会

8. 日 程

	13:00	13:10	14:20	14:30	15:10	15:20	16:15	
10月9日(土)	受付	開会 行事 会長 挨拶 事務 連絡	①低・中・高！ 授業づくりのポイントと授業実践 ◇眞榮里 耕太 (低) ◇平川 譲 (中) ◇齋藤 直人 (高)	休憩	②領域別！ グループワーク 授業づくりのポイントを考える 器械運動 (松本) ボール運動 (眞榮里) 体づくり運動 (夏莉) 陸上運動 (坂野) 水泳運動 (平川)	休憩	③グループワークのまとめ ～情報共有・質疑応答～ ◇山本、木下 齋藤	閉会 行事 会長 挨拶 諸連絡

※問い合わせ先 筑波大学附属小学校・体育教官室 TEL&Fax 03 (3946) 1948 (直通)

9. お支払いについて

イベントペイ

(クレジットカード・コンビニ支払い・ペイジー払い)

- ・期日までに入金がお済みでないとキャンセルになってしまいますのでご注意ください。
- ・キャンセル時の返金につきましては、クレジットカード決済のみの対応になります。
- ・領収書につきましては、入金が完了した際に自動送信されるメールからダウンロードしてご活用ください。領収書はこのダウンロード版のみです。宛名、発行者等の変更には対応できません。あらかじめご承知おきください。

※下記ホームページでも同じ案内を掲載しています

(ファイル変換の都合で日程表の時刻がずれる場合があります)。

<http://www.catv296.ne.jp/~tsukuba-taiiku/>

10. 古屋賞投稿規定

「古屋賞」寄稿規定

- 1 本賞に寄稿できるのは、筑波学校体育研究会会員に限る。会員は、本年度を含む3年以内の夏期研修会参加者とする。ただし、寄稿論文の研究者が複数の場合には、その中の一人が会員であればよい。
- 2 寄稿論文は未発表のものに限る。寄稿内容は、原則として教科体育及び学校体育（体育的行事、教科外体育など）に関する実践研究とし、研究目的・研究方法・研究結果・結論とその根拠等を明確にし、研究の性格によっては追試が可能なように文章を作成する。
- 3 提出原稿は、図表や写真のコピーを含めてA4版用紙6ページ以内とする。
- 4 原稿の文章は、パソコンにより作成し、図や表はそのまま印刷できるように作成し、各図表にはタイトルを付ける。
- 5 入賞論文には、表彰状と些少の研究奨励金を授与する。なお、入賞論文は夏期研修会参加者に印刷して配布する。また、選外で顕著な努力が認められた論文に金一封を授与する。

「古屋賞」について

長く理事長を務められ、本会の中心的役割を担ってこられた古屋三郎先生が平成12年6月にご逝去されました。長年の先生のご功績に対し、「古屋賞」を設けております。

具体的には、参会される先生方から実践研究論文を募り、理事会で特に優れていると評価した論文について、些少ですが研究助成金を提供しようというものです。

今年度の募集は致しませんが、上記寄稿規定をご覧になり、来年度に向けてご準備いただければ幸いです。